

伝えたい木の文化 残したい美しい森づくり 鬼太鼓の森づくり事業



市では、林野庁の「木の文化を支える森づくり活動」の推進に基づき、「伝えたい木の文化・残したい美しい森づくり」を目的に、市民の手で植樹から育樹までを行う「鬼太鼓の森づくり事業」を実施しました。

9月22日(土)には佐渡太鼓体験交流館で、シンポジウムを開催しました。これは、佐渡の豊かな森林と島内の伝統文化とのつながりを理解していただき、市民の皆さんに美しい森づくりへの参加を呼びかけようというもので、林野庁業務課国有林野総合利用推進室長の野口浩司さん、鼓童文化財団理事長の島崎信さん、浅野太鼓楽器店代表取締役専務の浅野昭利さん、学識経験者の松田祐樹さん、鬼太鼓の森づくり協議会顧問の小澤普照さんと青山佳世さんを迎えて行われました。

10月19日(金)には、新潟大学の協力

を得て、同大学演習林内の大王杉と島内に唯一残された杉の原生林にふれあうトレッキング体験を行い、小雨の降る中、参加者30名が本間准教授の説明を聞きながら散策しました。参加者から原生林の保護とすばらしい体験をさせていただいたとの感想を受けました。

10月20日(土)には、鬼太鼓の森づくり植樹祭を行い、式典には島内緑の少年団や林業関係者、一般参加者を含め約250名が参加しました。式典終了後は「鼓童」の演奏と「舟下鬼太鼓」の上演、記念植樹を行いました。新穂山国有林では、小雨が降る中、太鼓やバチの材料となるケヤキや朴の木の他、トキ放鳥に併せて営巣木となる松、佐渡市の木アテビなど合計8種類600本の植樹し、未

来年度からは、実行委員会が主催者となり、今年植樹した苗木の育樹活動を行います。多くの皆さん参加をお願いします。



ノロウイルス食中毒に 注意しましょう

例年11月頃から3月頃までは、県内でもノロウイルスによる食中毒が多発しています。カキ等の二枚貝はノロウイルスに汚染されていることがあり、また、感染者によって食品が汚染される場合もあります。次の点に留意して食中毒を予防しましょう。

- ・カキは生食を避け、中心部まで十分に火を通す。(85℃で1分以上加熱すれば、ノロウイルスの感染力は失われます)
- ・生野菜や果物は流水でよく洗う。
- ・調理前と用便後には石けんで丁寧に手を洗う。
- ・調理器具の使い分け。(要加熱食材用、生食・加熱済食材用など)
- ・調理器具の洗浄消毒。(加熱の他、0.02%以上の塩素でも消毒できます)
- ・下痢や嘔吐等の症状があるときは調理作業に従事しない。

佐渡市健康推進員って どんな仕事をするの？

人も地域も健康でやさしいまちづくりをめざして活動を行なっています

現在、旧市町村ごとに支部があり、10支部434名の会員が活動しています。

市民の健康増進に関する意識の高揚を図り、「健康で豊かな地域づくり」を目的とし、支部ごとに特色ある事業を実施しています。例えば、「高齢者のサロン」、「健康ウォーキング」、「親子クッキング」、「生活習慣病予防に役立つ調理実習」等、地域のみなさんと一緒に活動しています。

推進員自身が楽しんで事業を行なわなければ「住民も楽しくない」「長続きしない」ということで推進員が納得できるものを実施しています。

市では健康づくりの担い手としての健康推進員を育てるため、養成講座「元気いきいき塾」を開催しています。

健康づくりに興味のある方は、ご連絡ください。

◆お問い合わせ
市役所 保健医療課 (保健係) ☎63-3115

◆お問い合わせ
佐渡保健所 生活衛生課 ☎74-3399

